

「馬城会入会式」

2月28日（金）10時25分から相馬高校第一体育館で、表彰伝達式があり、皆勤賞、HR・生徒会・部活動などの功労のあった生徒達のそれぞれの代表に、菊田校長先生から表彰状が与えられた。

次に、部活動で活躍した生徒達に贈られる若駒賞が若駒会会長の宇佐見様から代表のバレーボール部福島くんに授与された。

最後に、相高生の模範となる文武両道を実践した生徒に、馬城会賞の賞状と記念品（置時計）を授与した。

普通科は稲垣くん、理数科は鹿山さんであった。



馬城会賞の授与

3年生の馬城会入会式は、11時半頃から行われ、6名の昔々の若駒が出席した。相馬支部長・馬城会副会長の佐々木政喜、副支部長の佐藤史生、荒井正光、佐藤重義、幹事の齋川一郎と会長村山がステージに上がった。

開式は佐々木が宣言、会長あいさつと卒業生への記念品として

「馬城会名簿」を理数科の小林くんに授与、その壇上で彼から新会員代表謝辞があった。

次に、佐藤史生から馬城会について丁寧にオリエンテーションがあり、閉式は荒井が締めた。



毎年行っていた名物、佐藤重義会員のエールと校歌斉唱が省かれたのは、残念であった。

学校長あいさつも省略、昨日、内閣からの新型ウィルス対応要請の件で、式の時間短縮対応となり、今朝、急遽そうすることにしたという。

終わったあとで気が付いたのだ！！

会長あいさつは、ほんの一言だけにし、校歌の話にちょっと触れれば、あいさつの中で、佐藤会員のエールで、新会員と歌うことができたのに……………と気が付いたが、遅きに失した。

自分は、その機転が利かなかったのである。



(2月29日：村山記)